

谷口まさのり 所沢市政レポート

『6月議会報告編／7/31(日)市政報告会 ご案内編』

連絡先：〒359-1151 所沢市若狭1-2961-1-213
電話：04-2941-5111 / FAX：04-2941-5112

メール (パソコン)：tani.eco@dream.ocn.ne.jp

ツイッター：<http://twtr.jp/user/taniguchi1965/status>

HP：<http://www.taniguchi-mirai.jp>

ケータイからのメールもお待ちしています



谷口まさのり

『議員定数のあり方』について議運* で提起（後述）・・・

*議会運営委員会（議会の進め方等を決定する重要な位置づけの委員会）

私、谷口まさのりは6月議会（6/14～7/5）において、議案に対する質疑、討論、一般質問にて以下の主旨で発言致しました。（発言の様子は録画中継で見られます！ 『所沢市議会』で検索⇒『所沢市議会 録画中継』⇒『定例会6月』⇒6/16質疑、6/21一般質問、**7/5討論**）

1) 補正予算案：（松原学園 太陽光発電 設備設置事業：1,155万円）

実勢価格より非常に高いと考えられる太陽光発電設備（10kWで1,150万円。設計は別予算で前年度実施済み）に対して質疑（6/16）。『1kW当たり工事費込みで60万円が実勢価格なので、10kWで600万円、太陽光パネルを斜めに設置する架台（市の答弁で100万円の予算）、発電量、CO2削減量等を表示する案内盤（同じく57万円）をあわせても、757万円（600+100+57）。公共施設向けに必要な追加工事や自治体からの発注という事情を考えると+αを加えても非常に高い買い物になるのではないかと。市民の皆様からの税金を高い買い物に使うことは見過ごすことはできない』との主旨で発言致しました。

市からの答弁は、『太陽光パネル部分は業者からの見積もりが根拠、その他は公的な埼玉県積算標準単価表等からの積算によるもので適正と考えるが、今後関係部署と協議していきたい』とのこと。結論として、7/5の議会最終日に会派『みんなの党 所沢』（2人会派）は今回の予算案（太陽光発電事業を含む全体で約1億5,051万円）に反対致しましたが、採決の結果、賛成多数で可決されました。（本来は谷口の積算との差額300万円を減額という対案を出すのが筋ですが、3名以上の議員の賛同が必要で今回は要件を満たせず。）

2) 一般質問（主に市執行部の事業等に対する質問）



①借金の累積残高の明確化：市からの答弁において、平成23年3月31日

現在で一般会計が597億円、特別会計（下水道、土地区画等）が237億円、事業会計（病院、水道）が57億円で合計約891億円の借金残高があることを再確認しております。（その他に土地開発公社等の借金が約45億円←H21年度末）ちなみに一般会計予算規模は今年度当初で873億円）

②財政情報の公開：『財政のツボ』（市HPより入手可能）で借金残高を明確に記載することを要求し、今後改善する旨の答弁が返ってきました。（現在は市民1人あたりの記載のみで全体像が示されていない。多くの市民の方が所沢市の借金・財政状況を把握することが重要と考えております。）

③事業仕分け（8月6日(土)／8月7日(日)）：**どなたでも参加できますので、関心のある方は是非ご出席を！**）：今年の事業仕分けのやり方や仕分け人等について、質問によって詳細を明らかにしました。仕分け人については、昨年は政策シンクタンクに委託したが、今年は行政を『熟知』した近隣自治体職員に依頼するとのこと。それに対して谷口は質問で、依頼予定者は実際の事業仕分けで仕分け人としての経験がないことを明らかにし、今回、厳しい視点で客観的に仕分けができるのか疑問視していることを問いただきました。

④子どもの命を守る取り組み（小・中学校の耐震工事前倒し）：現在の計画では全ての学校の耐震工事は、2年半後である平成25年度中の終了となっている。元々実施の必要性がある工事なので、今回の大震災を受けて、万、万が一を考え、前倒しが望ましいと谷口は指摘しました。答弁では『既に設計が終了している4校（現在の計画では平成25年度に工事实施）については可能な限り前倒しを検討していきたい』旨が示されました。



⑤その他：『埼玉県、東京都での大規模災害発生リスクに対して、一定程度離れている自治体との相互応援協定の必要性（現在は群馬県太田市、千葉縣市原市と締結済みで、西側、南側との協定はなし。勿論、現状は接している近隣自治体とは締結しております。）、『自然エネルギー推進 都市宣言の提案』『環境産業の誘致』『産業振興の戦略的なグランドデザイン』等を取り上げました。

3) 『議員定数のあり方』について

（谷口は4月選挙では、「議員自ら身を削るべきである！」とご承知の通り現在の36名から3段階で12名削減の24名へと主張）

表題にある通り6／28の議運で谷口より『4月の地方自治法改正に伴う議員定数の上限撤廃に対応して、所沢市議会として議員定数についてしっかりと議論すべき』と問題を提起しました。

これに関連して7／4の代表者会議（みんなの党 所沢は2名会派の為、残念ながら谷口は会議構成メンバーに入っておりません。3名以上の会派の代表者から構成）、さらに同日の議運で再度議論、谷口も再度発言し、ようやく議運での閉会中審査（7／27）での1つのテーマ（議員のあり方として）として、まずはどのようなプロセスで議論を進めていくかということを各会派から意見を出すというところまでまずは一歩踏み出しました。（議員の身分に関する議論はなかなかスピーディーに事が運びそうにないのが実態・・・）

尚、次回の議会は8月末からの見通しで、谷口の一般質問は9月上旬になると考えております。

皆様から上述報告や次回の議会に向けて、ご意見等いただければ幸いです。



「（仮称）谷口まさのり市政報告会 開催ご案内」

◆ 7月31日（日） に下記の会場・時間にて開催致します。（無料）

15：30～17：30 会場：狭山ヶ丘コミュニティーセンター

（通称コミセン：若狭4丁目2478-4）の2階学習室にて（24席）

- ① 今回の6月議会の報告
- ② 報告に対する質疑応答、参加者の皆様から『持続可能な所沢市を目指す』為などのご意見、アイデア等をいただきながら、意見交換させていただきます。

報告会終了後に谷口含めて会場を変えて会費制で食事をしながら、さらなる意見交換会も予定しております。お気軽ご参加下さい。

* 今回は会場確保の関係で小手指駅周辺での報告会はありません。何卒ご理解の程よろしくお願い致します。（埼玉知事選投票日）

◆ 谷口まさのり 経歴

- ・ 昭和40年生まれ 埼玉大学 工学部 環境化学工学科卒
- ・ 栗田工業（環境系）やCO2削減/省エネのコンサル企業に計15年在籍（技術営業）
- ・ 2011年4月 所沢市議選に当選（2,644票、みんなの党 公認）
- ・ 社会保険労務士/環境カウンセラー